

レジメン名称: FOLFIRI + ベクティビックス

大腸癌

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日
		1 コース 2 週間 Day 1.....15(=Day1)
ベクティビックス	6 mg/kg	↓
イリノテカン	150 mg/m ²	↓
レボホリナート	200 mg/m ²	↓
フルオロウラシル bolus	400 mg/m ²	↓
フルオロウラシル 持続	2400 mg/m ²	↓ 1 日目から 46 時間持続投与

レジメンオーダー以外に必要な処方

皮膚障害予防：ヘパリン類似物質油性クリーム 0.3%（ヒルドイドソフト） 2 本 1 日数回

血清 Mg 測定（3 ヶ月に 1 回以上）

必要時（制吐剤予防投与）：day2～：デキサメタゾン（デカドロン）4～8mg 1×朝 2 日間 内服

注意事項

イリノテカンとレボホリナートは同時開始ですが、点滴時間が違いますのでご注意ください。

ベクティビックスのルートにはフィルター付き輸液セット（ニプロフィルターセット STFPG-20BRCG）使用

ベクティビックス：インフュージョンリアクション（気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど）に注意。

ベクティビックス初回および 8 週以上あいた時：投与時に心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり

投与方法：1 日目～		
1	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たし、メインルートを止める	
2	ボララミン注 1A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、ゆっくり、下の側管から投与	
3	グラニセトロン 3mg/100mL 1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A 30 分かけて点滴、下の側管から投与	
4	生食 50 mL 100mL/時で、15 分間、残破棄可、下の側管から投与	
5	ベクティビックス _____ mg, 生食 100mL フィルター付き輸液セット使用 60 分かけて点滴、下の側管から投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）	
6	生食 50 mL 100mL/時で、15 分間、残破棄可、下の側管から投与	
7	レボホリナート _____ mg, 生食 500mL 120 分 かけて点滴、 イリノテカンと同時に開始 下の側管から投与	イリノテカン _____ mg, 生食 250mL 90 分 かけて点滴、 レボホリナートと同時に開始 、 ケモセーフロックのルートから投与 （イリノテカンは 90 分投与のため、先に終わります）
8	フルオロウラシル _____ mg, 生食 40mL 全開で投与、ケモセーフロックのルートから投与	
9	1 の生食を使用し、ウォッシュアウト、ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄	
10	フルオロウラシル _____ mg, 生食、全量 210mL 5 mL/時、46 時間かけて ケモセーフセットを外して、インフューザーポンプにて投与	